

## カラフルキッチン とよなかま

コース  
自主  
事業

とよなかま

### 申込内容

#### ■事業の概要

「とよなかま」は、地域に住む外国人と地域住民との交流をめざしています。「カラフルキッチン」では、料理を通して多文化との出会い、つながりの場を提供します。是非、気軽に参加してください。

#### ■目的

地域に暮らす外国人が増えている一方で、顔の見える交流の場が少なく、外国人は周縁化される傾向があります。子どもたちが他者の言語・価値観・文化を楽しめるもの、身近なものとして捉えられるような事業を企画します。

■交付決定額 131,000 円  
(事業予算 319,449 円)



### ◎活動の様子

7月28日「第2回カラフルキッチン」が国際交流センター（エトレとよなか6階）の料理教室で行われました。今回の講師はインドネシア出身のナナさん。キャンセル待ちが出るほどの大盛況、外国にルーツのある子や外国に興味のある子など38人の元気な子どもたちが集まりました。また、スタッフとして参加する保護者も回数を重ねるごとに少しずつ増えてきているようです。代表の嵯峨吏佳さんは「今回、チラシの配布枚数を増やしたところ参加者も増えました。今後は午前と午後に分けたりと工夫していきたいですね」と話します。



まず、英語の歌に合わせて踊ったり、クイズを通してインドネシアの文化に触れることから始まります。場が少しほぐれた頃、料理作りがスタート。今回のメニューは、講師のナナさん考案の日本の焼きそばに似たミーゴレン。彼女の周りに子どもたちが集まり、興味津々、耳をそばだてながら通訳も交えて英語で作り方を教わります。家でお手伝いしている子も多く、上手に包丁を扱っていました。初めて料理に挑戦した子も「楽しい!」「これ私がやったの!」と笑顔で話してくれました。試食タイムでは、「(日本の焼きそばより)甘い!」「おいしいなあ」とスタッフや友達、ナナさんと談笑しながら和気あいあいとミーゴレン、好きなフルーツを混ぜて食べるインドネシア風かき氷をあつという間に平らげていました。

「日本で初めて子どもたちに何かを教えたんです。その子たちが英語を一生懸命に聞いてくれて嬉しかった」とほほ笑むナナさん。「また参加したい!」「面白かった!」とはしゃぐ子どもたち。試食後、「テリマカシー!(ありがとう)」「サマサマ(どういたしまして)」とインドネシア語で挨拶し合うナナさんと子どもたちの様子がとても印象的でした。さらに、ナナさんと保護者が英語で会話をしている場面もあり、料理作りを通じて交流を広げ、外国人を含めた地域住民同士が繋がり合う場を作っていきたいという団体の思いを感じることができました。



### ◎今後の予定(平成26年度)

8月30日 10月25日 12月6日 カラフル・キッチン

### ◎リンク

[▼とよなかまブログ](#) [▼平成23年度活動紹介](#) [▼平成24年度活動紹介](#) [▼平成25年度活動紹介](#)